



---

# 平成28年度 事業報告書

---

自 平成28年11月1日 至 平成29年3月31日



公益社団法人全国被害者支援ネットワーク

東京都文京区本郷二丁目14番10号東京外国語大学本郷サテライト6階

## 平成28年度事業報告

### 【 総括 】

- 1) 一般社団法人全国被害者支援ネットワークが、11月1日に公益認定を受け、公益社団法人全国被害者支援ネットワークとなった。  
これに伴い、特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークは11月1日に解散し、同日付をもって全事業を公益社団法人全国被害者支援ネットワークが譲り受けた。  
11月1日からは全事業を公益社団法人全国被害者支援ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）が実施した。  
ネットワークは、「第3期3年計画」の初年度として、加盟各センター（以下「センター」という。）及び関係機関・団体と連携し、協力を図りながら事業計画を推進した。
- 2) 第3期3年計画では、「被害者が、全国のどこにいても、いつでも（24時間）求める支援が受けられ、被害者の声に応えることのできる活動」という「目指す姿を実現するための条件整備の充実・強化」のために、「①犯罪被害者支援活動（人材育成、支援活動、組織体制、広報啓発活動）を充実・強化する。②ネットワークと各被害者支援センターの連携を一層強化するとしている。重点施策としては「①支援活動の質の向上を図る。②相談員等・事務局員の意欲の向上を図る。③組織体制の強化を図る。④広報啓発活動の充実強化を図る。⑤被害者緊急支援金の継続的な運用と充実」を掲げており、その実現のために種々の事業を実施した。
- 3) 各センターとの連携協力の強化に関しては、次の通り実施した。
  - ・ブロック事務局体制の強化を図るため、ブロック事務局長会議をブロック毎に開催し、被害者支援活動の事業課題の解決のための対応策等を協議した。
  - ・理事がセンターを訪問し、センターの課題について意見交換を行った。
  - ・センターの人材育成を目的にマネジメント・アドバイザー1名を派遣して、現状分析・助言及び提言を実施した。
- 4) NNVS認定コーディネーターによる全国研修・ブロック研修・センター研修等の人材育成活動に関する助言・指導など、NNVS認定コーディネーターの役割の積極的な展開を図った。  
NNVS認定コーディネーター会議の開催、質の向上研修におけるプログラム作成・開催センターへの助言指導、講師派遣によるセンター支援を行った。
- 5) 理事会・各部会等における検討・決定を踏まえて、以下の活動を行った。
  - ①質の向上研修等による支援員、相談員、スタッフ等の研修を実施した。
  - ②被害者支援に関する広報・啓発活動を推進した。
  - ③(公社)ACジャパンが実施する「平成29年度支援キャンペーン」の支援団体に決定し、広告制作に入った。
  - ④犯罪被害者等の支援に携わる者の倫理綱領、第二ロゴ・シンボルマークを決定した。
  - ⑤犯罪被害者等電話サポートセンターの設立準備を行った。

### 【 事業内容 】

#### 【協力及び共助に関する事業】

##### (1) ネットワークと加盟各センターの協力と連携強化

###### ① ブロック事務局体制の強化

- 1) ネットワークと加盟団体の協力と連携強化に関して、全国を6ブロックに分け、ブロック事務局体制の強化を掲げ、ネットワーク事業・施策の実行度を高めるためにブロック毎にブロック事務局を設け、ブロック事務局長会議の開催及びブロック研修（質の向上研修）の開催等に関するネットワークの業務をブロック事務局に委託した。
- 2) ブロック事務局長会議  
各ブロックにおける被害者支援活動遂行上の事業課題を解決するためにブロック事務局長会議を実施し、各センターにおける課題抽出、その対応策についてブロック内での共通認識を深めた。  
また、ネットワークのカウンセリング支援事業、犯罪被害者等電話サポートセンター、犯罪被害相談員等の研修受講履歴システム等について説明した。

11月以降3ブロックで1回ずつ開催した。

## ② 理事のセンター訪問

各センターの実情等の把握と課題検討のため、理事が11月以降2センターを訪問し、意見交換を行った。

## ⑥ 支援活動従事被害者連絡会議

支援活動に従事している被害者の情報交換等を行い、各センターの活動に活用していこうとするもので、2月21日に東京外国語大学本郷サテライトで開催し、8名が参加した。

## (2) 財政基盤確立のための諸活動

### ① 賛助会員／賛助企業／寄付金（個人・団体）

実績	賛助会員	個人	207,000円	(30名)	企業団体	(4団体)	860,000円
	合計		1,067,000円				
	寄付金受入額	個人	418,887円	(22名)	企業団体	(7団体)	1,953,570円
	合計		2,372,457円				
	総合計		3,439,457円				

### ③ 寄付型自動販売機設置事業

飲料代金から1本につき10円を犯罪被害者支援活動に寄付する自動販売機の設置を推進した。

実績 1,068,432円 設置数 台

### ④ 中古本寄付プロジェクト「ホンデリング・プロジェクト」

中古本のリユースによって寄付を受ける仕組みの「ホンデリング・プロジェクト」に42の加盟団体が参加し、各団体広報等を行いながら実績を伸ばしている。

本プロジェクトは、メディアの関心が高く、ネットワーク、加盟団体ともパブリシティを多数獲得できており、それが寄付の増加につながっている。

平成28年11月～平成29年3月までの寄付実績は、764件、1,913,981円であった。

なお、上記金額のうち、ネットワークへの寄付金 合計 572,597円

加盟団体への寄付金 合計 1,341,389円

## (3) マネジメント・アドバイザーの派遣

センターの人材育成を目的として1名のマネジメント・アドバイザーをセンターに派遣し、調査、分析、助言・提言を実施した。

派遣したセンターは次のとおりである。

おかやま・みえ・山口・紀の国

## (4) 被害者緊急支援金の支給事業

犯罪被害者等を被害直後の早期において緊急的に支援する等のために緊急支援金を給付した。

・申請件数：35件（人）

・支給金額合計：1,810,000円

なお、緊急支援金を交付したが、2件65,000円の返還があった。

## (5) カウンセリング等の支援事業

犯罪被害者等が受けるカウンセリングの費用を各支援センターを通してカウンセリング実施先へ支払い、被害者等の負担を軽減した。

・申請件数：10件（人）

・支援金額合計：309,990円

## (6) 犯罪被害者等電話サポートセンターの開設準備

犯罪被害者等が、全国からも、電話相談ができるようにするための犯罪被害者等電話サポートセンターを平成30年度に開設することになり、相談室の設置、備品の整備等開設準備を行った。

相談室所在地：お茶の水サニービル 3階

## (7) 被害者支援募金活動

ネットワークと加盟団体の財政基盤・組織基盤の強化と犯罪被害者を取り巻く現状や被害者支援活動に対する理解を広く国民に深めていくための広報啓発活動として、被害者支援のための犯罪被害者週間を中心とした全国一斉募金活動の取り組みを実施した。

ネットワークでは、犯罪被害者週間に合わせて、街頭で募金活動を実施し、東京では、御茶ノ水駅前と池袋駅東口前で行った。

## (8) 犯罪被害者団体との連携

犯罪被害者団体と連携して「犯罪被害者週間全国大会2016」に協力した。

犯罪被害者週間全国大会2016

11月26日（土）晴海グランドホテル（東京都中央区晴海3-8-1）において、犯罪被害者団体19団体で構成する「犯罪被害者団体ネットワーク」（愛称「ハートバンド」）が主催し、ネットワーク

等が後援する全国大会が開催された。

主催： 犯罪被害者団体ネットワーク（愛称「ハートバンド」）

協賛： 公益財団法人犯罪被害救援基金

後援： 内閣府／警察庁／国土交通省／全国被害者支援ネットワーク

協力内容： 全国大会開催の準備対応への支援、大会への事務局参加

## 【情報の交換に関する事業】

### （1）ネットワークニュース発行

ネットワーク事業活動の発信、ネットワークと加盟団体間及び加盟団体間の情報共有を目的として、発刊した。

1か月に1回の発信をして、11月から3月までの間に第57号から第61号を発行した。加盟団体の活動を紹介する寄稿は毎号1団体掲載しており、ファンドレイジングや広報活動、支援活動について紹介した。

「全国の支援員さんから～わたしの支援活動～」のコーナーでは、全国の支援員から、支援にあたる心構えや工夫等が寄せられた。

ネットワークからの情報発信として、内閣府・警察庁等行政の動きや人事異動等支援を巡る動向、研修・イベント、各種委員会等の活動を紹介し、情報発信と情報共有に努めた。

## 【教育及び訓練に関する事業】

### （1）質の向上研修

全ブロック統一プログラムにより、全国6ブロック毎に均一な内容の1泊2日の研修の下半期を実施した。

ブロック	開催センター	日程	参加者数
北海道・東北	あおもり	2016/11/24・25	24
関東・甲信越	都民	2017/2/4・5	16
東海・北陸	石川	2017/3/4・5	16
近畿	京都	2017/2/25・26	15
中国・四国	山口	2017/1/28・29	26
九州	大分	2017/2/18・19	17

### （2）受講者管理システムの導入

犯罪被害相談員等が受講した研修を把握し、研修の質の向上をはかるため、研修受講履歴管理システムを導入した。これにより、誰がどのようなネットワーク主催の研修を受けたことがあるか、システム上で確認することができる。またセンター主催の研修も同様に、受講履歴を把握することが可能になる。

### （3）課題研修

犯罪被害者支援の具体的事例検討、相談経験交流を通じて、支援員・相談員の均質な質の向上を図ることを目的に、大阪センターで開催した。

実施状況： 全5回のうち第5回を実施

実施期間： 第5回 12/19 ～ 12/21

参加者数： 第5回 3名

実施内容： チェックシートに基づく個人の課題検討、直接支援の支援計画、ロールプレイ、性犯罪被害者への支援技術習得、直接支援に基づく事例検討等

### （4）広域・緊急支援チームの運用

広域・緊急的事案に対応するため、支援を要する加盟団体への理事、コーディネーター等チーム員の派遣をするもので、今年度は派遣要請がなかった。

また、広域・緊急支援チーム会議を11月19日(土)・3月4日(土)に開催し、広域・緊急支援マニュアルの見直し等を行った。

### （5）NNVS認定コーディネーターの配置

#### ① NNVS認定コーディネーター会議の開催

NNVS認定コーディネーターが参集し、研修内容等に関して討議する会議を、11/19、3/3に開催した。

#### ② 質の向上研修における助言・指導

ブロック担当 NNVS 認定コーディネーターが、開催センターに対し質の向上研修のプログラム作成に関して助言・指導を実施した。

### ③ 支援センター開催の養成講座・継続研修への講師派遣

加盟団体で実施する養成講座、継続研修の講師として NNVS 認定コーディネーターを 5 センターに派遣した。

	センター名	派遣日	内容
1	かがわ被害者支援センター	2016/11/1	電話相談のロールプレイ 事例検討等
2	埼玉犯罪被害者援助センター	2017/1/18	電話・面接相談
3	ひょうご被害者支援センター	2017/2/26	被害者電話相談について
4	千葉犯罪被害者支援センター	2016/12/9	よりよい支援を目指して
5	みやぎき被害者支援センター	2016/12/6	性暴力被害に関する電話相談及び直接支援における留意点

### (6) 春期全国研修会

センターのコーディネーターの育成のための研修であり、全国被害者支援ネットワークが認定する NNVS 認定コーディネーターの資格要件を修得できる研修を実施した。前期研修を 2 日間、次のレベルにあたる後期研修を 3 日間開催した。

前期 (1/23～24) 受講者 5 名

後期 (1/25～27) 受講者 6 名

場所：機械振興会館

### (7) 自助グループ研修

警察庁の交通事故被害者サポート事業。被害者等の自助グループのあり方等についての講義、被害者等の回復のための自助グループを支援し、被害者支援の充実を図ることを目的とする自助グループ・運営会議の事務局として協力した。

日程：平成 28 年 11 月 30 日 (水)

場所：機械振興会館

## 【調査及び研究に関する事業】

### (1) 国際化への取り組み

日本における犯罪被害者支援の充実と質の向上のため、諸外国の犯罪被害者支援機関の調査研究を行うもので、平成 27 年度の海外訪問派遣チームがイギリス、ドイツを視察した調査の報告書を取りまとめ 12 月に発行した。

## 【広報及び啓発に関する事業】

### (1) 被害者支援ニュースの発行

犯罪被害者支援に関する最新情報等を取り上げ、第 21 号 (12 月)、第 22 号 (3 月) を発行した。

配付先 (約 1,800 か所) :

加盟団体、都道府県警察本部、都道府県庁、政令指定都市、検察庁、保護観察所、更生保護委員会、弁護士会、日本司法支援センター、地方裁判所および支部、矯正管区・施設・少年鑑別所・少年院、地方法務局、精神保健福祉センター、臨床心理士会、社会福祉士会、財団法人交通事故紛争処理センター、独立行政法人自動車事故対策機構 (NASVA)、暴力追放運動推進センター、警察庁記者クラブ、司法記者クラブ、個別関連マスコミ、被害者団体、賛助会員等

### (2) 犯罪被害者支援を考える・学ぶ講座

将来、法曹界を担う人材や援助職 (医師、教師、看護師、心理士等) をめざす人材に対して、被害者支

援に関する知識を涵養する目的で、11月から1月までの間に、以下5大学・大学院に在籍する大学生・大学院生190名を対象に、被害者支援に関する講義を実施した。

ア. 上智大学 参加者48名：受入担当 伊藤富士江教授

開催日時	11月25日(金)	11:00～12:30
講義	被害者の声	小佐々冽子(被害者遺族)

イ. 東京大学法科大学院 参加者28名：受入担当 川出敏裕教授

開催日時	12月5日(月)	13:00～14:45
講義	被害者の声 被害者支援	伊藤秀子(被害者遺族) 宮川倫子(弁護士)

ウ. 同志社大学法科大学院 参加者23名：受入担当 川本哲郎教授

開催日時	12月5日(月)	13:10～14:40
講義	被害者の声	永谷博司(被害者遺族)

エ. 中央大学法科大学院 [犯罪心理学] 参加者60名：受入担当 小木曾綾 教授

開催日時	12月9日(金)	15:00～16:50
講義	犯罪被害者の心理とPTSD治療	齋藤梓(臨床心理士)

オ. 中央大学法科大学院 [被害者と法] 参加者22名：受入担当 小木曾綾教授

開催日時	12月9日(金)	17:00～18:50
講義	犯罪被害者の被害時の心理と被害後の心理、PTSD治療	齋藤梓(臨床心理士)

カ. 東京学芸大学 受講者9名：受入担当 宿谷晃弘准教授

開催日時	1月23日(月)	16:10～17:40
講義	被害者の声	佐藤咲子(被害者遺族)

### (3) 犯罪被害者支援キャンペーン

公益社団法人ACジャパンが実施する「平成29年度支援キャンペーン」の支援団体に決定したので、11月に覚書を交わし、広告制作に取りかかり、平成29年7月からテレビ等の広告による啓発活動が開始する予定である。

### (4) メディア・マスコミ対応

記事検索システムによる地方紙等の被害者支援に関する情報を収集するとともに、マスコミからの問い合わせに個別に対応して情報提供した。

## 【その他】

### (1) 犯罪被害者等の支援に携わる者の倫理綱領

平成15年に制定された「犯罪被害者への支援活動を行う者の倫理綱領」を見直し、被害者支援を取り巻く環境の大きな変化に対応するために新綱領「犯罪被害者等の支援に携わる者の倫理綱領」が12月27日の総会で承認され、制定した。

### (2) ネットワークのロゴ・シンボルマーク

ネットワークのロゴは、平成15年に制定されて以来、若干の修正をしながら使い続けてきた。しかしながら、社会状況の変化やACジャパンの支援キャンペーンの対象団体として全国的な広報啓発を展開することとなり、被害者支援が世界の人々に共感を持って受け止められるように第2ロゴを発出することとし、12月7日の理事会において承認された。

### (3) 公益認定と事業譲受

一般社団法人全国被害者支援ネットワークが、11月1日に公益認定を受け、公益社団法人となった。これに伴い、特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークは11月1日に解散し、同日付をもって

全事業を公益社団法人全国被害者支援ネットワークが譲り受けた。  
11月1日からは全事業を公益社団法人全国被害者支援ネットワークが実施した。

### **【各種会議体】**

総会	12月27日(臨時)
理事会	12月7日(臨時)、3月3日
三役会議	11月18日、1月13日、3月2日
人事諮問委員会	1月13日、3月29日
広報組織部会	11月18日、3月2日
研修・支援活動部会	11月18日、3月3日